

平成31年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	国語	科目名	国語表現	単位数	2	履修学年・クラス	3ABC
担当者	第一学習社「国語表現」・学習課題ノート・新総合図説国語・国語辞典・クリティカルシンキング						
学習目標	○ 国語で適切に表現する能力を身につけ、伝え合う力を高める。 ○ 実際に文章を書くことで、相手の立場に立つて効果的な表現を考え、言語感覚を磨く。 ○ 他者の発言に耳を傾け、内容を理解するとともに、進んで表現し社会生活を充実させる態度を育てる。						
学習方法	○ 自分の意見や考えを話したり書いたりし、適切に伝えます。 ○ 自由な発想による表現活動を通して、表現することに親しみます。 ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の基礎となる事柄を理解し、表現全般に通じる基礎的な方法を身に付けます。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。				
	能	話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。				
	能	書く能力	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。				
	能	読む能力					
	知	知識・理解	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	話	書	読	知		
前期中間	記録文を書く レポートを書く	記録・データの活用法を学び、章立てを考える。	○	○	○	○	○	関： 報告の様式(パターン)を理解しようとしている。 書： 章立てがしっかりしている。 知： データを含む資料を正確に把握できる。	考査 行動の観察 提出物確認
	敬語の分類	区別をしっかりとつける。					○	知： 尊敬・謙譲・丁寧の意味と区別を理解している。	
	敬語演習	問題演習を通じてしっかりと定着させる。		○			○	話： 憶えるだけでなく、使えるようになっている。 知： 使い分けのしかり理解している。	
前期末	課題作文を書く	与えられたテーマに問題意識を持ち、効果的に表現する。	○	○	○	○	○	関： 自分なりに、積極的に書こうとしている。 書： 的を射た論理展開が出来ている 知： 原稿用紙の使い方を理解している。	考査 行動の観察 提出物確認
	小論文を書く	実践的な論の展開と序・破・急の段落構成を把握する。	○	○	○	○	○	関： 自分なりの論を展開しようとしている。 書： 段落構成に応じた論が展開できている。 知： 論を構成する社会情勢や教養を身に付けている。	
	要約の仕方	指定された字数で簡潔にまとめることが出来るようにする。	○	○	○	○	○	関： 簡潔な言い回しに変えようとする意欲がある。 書： 指定された字数で書こうとしている。 知： 言葉の意味の類似性をしっかりと踏まえている。	
	ことわざ 四字熟語 慣用句・慣用表現	効果的な表現のために必要な語彙を習得する。		○			○	話： 増えた語彙を日常生活で活かしている。 知： 語彙が増えている。	
後期中間	日本語の特徴	自国の文化・言語を理解し、有効に活用出来るようにする。	○				○	関： 日本語の特質を理解しようとしている。 知： 新たに得た知識を積極的に活用している。	考査 行動の観察 提出物確認
	方言と共通語	日本の言語文化の一環としての方言を理解する。	○				○	関： 地域に根づいた言語と標準語を理解しようとしている。 知： 理解した言語を積極的に活用している。	
	ニュアンスを変える助詞	言葉のつながりを有効に出来るようにする。	○	○			○	関： 効果的な言い換え・言い換えを理解しようとしている。 書： 助詞の活用で主語と目的語を置き換えることが出来る。 知： 助詞の意味を理解している。	
	助詞	演習問題を通じて有効活用と文法の理解を図る。	○	○			○	関： 積極的に身につけようとしている。 話： 日常会話で活かしている。 知： 助詞の意味を理解している。	
後期末	日本語のレトリック	多様な表現を持つ意味を考え、表現に活用できるようにする。	○				○	関： 効果的な表現を理解しようとしている。 知： 表現の意味を深く考えることが出来る。	考査 行動の観察 提出物確認
	古語雑談「やさし」の歴史	言語の意味が時代によって変遷することを理解する。	○				○	関： 自ら積極的に知ろうとしている。 知： 他の言語の意味の変遷についても理解している。	
	故事成語	中国文化の理解とともに漢語表現を通じて明快端的な語彙を増やす。	○	○	○		○	関： 新たに語彙を増やそうとしている。 話： 日常会話に活かそうとしている。 書： 文章表現に活かそうとしている。 知： 使える語彙が増えている。	